

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成30年度 第1回佐渡市児童館運営懇談会
開催日時	平成30年7月19日(木) 午前10時開会 11時30分閉会
場 所	金井コミュニティセンター 小会議室
議 題	(1) 平成30年度佐渡市児童館の事業計画について (2) 今後の児童館運営について (3) 意見交換
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	参加者： 子ども若者課長 市橋 法子 有識者 6名 児童館職員：ちのわの家館長 小田きみえ 畑野児童館館長 渡邊 則子 事務局： 子ども若者課子育て支援係長 余湖 雅美 子育て支援係主任 土屋真由美
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備 考	

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
事務局	<p>【前回からの経過と今後の児童館運営について】</p> <p>○ちのわの家について</p> <p>前回懇談会では、3月に閉園した海星幼稚園を移転先の候補としていたが、加茂小からの距離や経路などの状況を検討した結果、移転は見送ることになったこと、また、今後は佐渡市としての施設整備計画を策定し、加茂小の近くに児童クラブを設置する方向で検討していく予定だが、検討にあたっては、保護者への説明の機会を設け、意見を伺いながら進めていくということをお伝えした。</p> <p>その後の経過としては、まず現状として、佐渡市全体の放課後児童受け入れ施設の整備計画が完成されていない状況があり、その中で、両津地区についても、放課後児童受け入れ施設の整備計画策定を進めている。</p> <p>ちのわの家は、現在の土地が地盤沈下で傾いていることもあり、移転について早急に考える必要はあるものの、両津児童クラブの利用状</p>

	<p>況や、河崎小の児童クラブ設置要望から、両津地区全体で児童クラブのニーズが高いことが見受けられるため、児童クラブへの移行も視野に入れながら、ちのわの家単独の計画ではなく、両津地区全体での施設整備を検討していく予定。</p> <p>検討にあたっては、保護者へのニーズ調査や意見を伺いながら進めていきたいと考えている。</p> <p>○畑野児童館について</p> <p>前回懇談会で、長期休暇に他地区の児童クラブを利用している児童がいるので、児童クラブのニーズ調査をしてはどうかという意見をいただいた。今後、佐渡市全体の施設整備計画策定の参考とさせていただくため、必要なニーズ調査を検討していく。</p> <p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島内では児童館 2 つ、他は児童クラブ。保護者のニーズとして、各小学校に児童クラブがあるといいと思うが、経費のことを考えると難しいのではないか。 ・児童館は旧自治体で設置したもので、施設の老朽化が激しい。児童館は国の交付金が付かない。国からは学校の空き教室を使うよう通知がある。国策として学童整備に力を入れているので、施設を適切に修繕しながら、児童クラブへ転換していきたい。 ・学校利用が望ましいが、空き教室の利用は国土交通省の縛りがきつくハードルが高い。敷地内の建設も考えている。児童クラブへの転換は必要だが、児童館の良さもあるのでその部分をどうするかを考えながら進めたい。 <p>A 氏 子ども若者課長</p> <p>D 氏 子ども若者課長</p> <p>ちのわの家館長 子ども若者課長</p> <p>ちのわの家館長 子ども若者課長</p> <p>ちのわの家館長 子ども若者課長 ちのわの家館長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の利用は難しいのでは。 ・学校利用となるとセキュリティの問題もある。最近では、七浦児童クラブ、真野児童クラブを学校内設置としたが、別玄関が設けられるか、不審者対策をどうするかが大きな問題となった。 ・児童クラブとした場合、確保する面積はどのくらいか。 ・基準は 1 人あたり 1.65 m²、1 教室 30 人程度。トイレ等は共有となる。 ・児童クラブにするなら専用の部屋が必要ではないか。 ・基本は専用だが、学校の実情と合わせて覚書を交わす。空き教室があっても特別教室だと使いにくい。児童クラブ専用に使わせてほしいが、実態は難しい。 ・一部屋だと子どもがストレスを感じる。部屋は複数必要ではないか。 ・学校との相談になる。図書室や体育館などの借用品も考える。 ・児童クラブ化する場合は、構成員の増員も考えてもらいたい
--	--

子ども若者課長	・人員は2人以上確保しなければならない。畑野児童館は、今の施設で児童クラブの機能を持たせられないか。その場合、柔道場をどうするか等全体の構想の中で考える必要がある。国策として一定の支援もあるので活用したい。来年度に金井に第2児童クラブを作る。金井、佐和田は常に定員いっぱいの状況。
C氏	・児童クラブの定員は何人か。
子ども若者課長	・借りられる面積にもよる。30～40人規模が多いが、七浦など20人で始めているクラブもある。
D氏	・登録児童はどのくらいか。
子ども若者課長	・佐和田は定員50人のところ70人、金井は40人のところ7～80人。
C氏	・今も希望すれば全員入れる状況か。
子ども若者課長	・全部は無理で、クラブによっては人数制限をかけている。
C氏	・それだけ児童クラブが人気なのであれば、建物が一つほしい。
子ども若者課長	・両津は市有地が少なく土地の選定が難しい。その上で、中央が便利なのか、別の場所がいいのか。吉井、河崎は個別に設置し、他に両津地区として一つ…など、送迎を考えると駐車場の問題もあるため、総合的な意見をいただきながら考えていきたい。
B氏	・畑野地区のニーズ調査を検討したいとあったが、調査はいつ行うのか。
子ども若者課長	・年度内にできればと考えている。
D氏	・畑野地区もニーズはあると思う。
B氏	・児童クラブのニーズが多ければ、児童クラブに持っていけるのか。児童館のようにフリーで預けられるというのは、保護者にとっては良いのだろうが。
畑野児童館長	・児童館は子どもにとっては使いやすい。本当に困っている人は4～5人いるかどうかだと思う。
子ども若者課長	・児童クラブは申し込みが多いと使えない場合がある。児童館は定員がなく、自由に使えるのが利点。
F氏	・児童クラブに移行すると未就学児は利用できない。児童館は未就学児と小学生の両方の子を持つ親にとっては大変ありがたい施設。両方一緒に利用できる施設はなかなかない。
子ども若者課長	・子育て支援センターは利用対象を未就園児とその保護者としているが、就園児も使える場合もある。子どもの居場所は大事と考えており、民間で子どもの居場所の整備をする補助金を出しているが、受け手がなかなかいない。
ちのわの家館長	・児童館があると色々な学年の交流ができる。児童館で育った中・高生がボランティアで来てくれたり、子どもの成長にはこういった交流の場が必要だと思う。
子ども若者課長	・世代間交流も大切。児童館を一気に無くそうというのではなく、子

	<p>どもの環境として何が一番良いのかを総体的に考えていきたい。</p>
E氏	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間だけでもいいから午前中から開設できないか。保護者の声が多い。子どもを見る人がいない家庭は両津児童クラブを使っているが、加茂小の友達がいらない。
子ども若者課長	<ul style="list-style-type: none"> 人の手配や全体的な構想ができていないので、考えさせてほしい。
E氏	<ul style="list-style-type: none"> 終業後もすぐに児童館を利用したいができない。一度家に帰ってから児童館に来るのは、距離があり困難。
ちのわの家館長	<ul style="list-style-type: none"> 終業式、卒業式などの後、児童館までの時間を学校に居させてもらうことはできないか。学校でお昼を食べさせてもらえないか。
畑野児童館長	<ul style="list-style-type: none"> 畑野は飲食を一切禁止しており、お昼も持たせない。開館時間も12時を守ってもらっている。昔から決まっており、地域にも浸透している。
ちのわの家館長	<ul style="list-style-type: none"> 両津は家が遠い子が多く、畑野と違い困難。
子ども若者課長	<ul style="list-style-type: none"> 終業式後の件は、可能であれば学校で受けてもらいたい。開館の前倒しについては即答できないが、行事の時や、終業式から夏休みの間だけでもできるか、ひとつの意見として検討したい。
ちのわの家館長	<ul style="list-style-type: none"> 終業式など給食がなくて早く終わる時の食事場所をぜひ提供してもらいたい。
B氏	<ul style="list-style-type: none"> 両津は「ちのわの家」という名称だが、畑野は「畑野児童館」となっているのはなぜか。
子ども若者課長	<ul style="list-style-type: none"> 昭和61年当初からこの名称である。
A氏	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子。親は仕事しているが、児童館で受け入れてもらえるか。
子ども若者課長	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れの制限はしていない。加配が必要であればヘルパー利用する等の方法がある。児童館が駄目なら他の方法を考えなければならない。個別の相談はさせていただく。
F氏	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンターは料金がかかるが、助成はあるか。
子ども若者課長	<ul style="list-style-type: none"> 助成はしていないが、他の自治体と比較して高額ではない。今年度の利用状況を考えながら来年度に活かしたいが、金額の妥当性の判断が難しい。アンケートでは、依頼側は高い、提供側は妥当と思っているという結果が出た。
F氏	<ul style="list-style-type: none"> 以前住んでいた所では1時間700円だが、500円が助成で戻ってきて、実質200円なので使いやすかった。預かる側も、知っている人からお金をもらうのは申し訳ない気持ちがあるので、助成金制度はありがたかった。
子ども若者課長	<ul style="list-style-type: none"> 料金を支払う時に負担感がない方が良いのではないか。後で戻すよ

<p>F 氏</p> <p>子ども若者課長</p>	<p>り最初から少額の方が良いのでは。いずれにしろ検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長の子と3歳未満の子がおり、保育園に上の子だけ預けようとしたができないと言われた。入園しやすい制度にならないか。 ・来年の幼児教育無償化に向けて、集団生活を学ぶ場として、年中・年長を預かれるよう検討している。入園基準をしっかりとる必要があると考えている。
<p>A 氏</p> <p>子ども若者課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂小学校は老朽化しており、改築の可能性があると聞いている。児童クラブもその時に併せて検討してはどうか。 ・2～3年の間に学校の関係者とも協議したい。新たな施設を作る時は、ニーズを確認して行いたい。
<p>D 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な話が出た中で、条例など法に関わる問題もあると思うが、子どものために良い方向で進めてください。 <p>【まとめ】</p> <p>児童館の児童クラブへの転換については、佐渡市全体の放課後児童受け入れ施設の整備計画策定を進める中で、学校等関係者との協議や地域のニーズ調査を適時行いながら検討していく。</p>